

2022年6月28日

報道関係各位

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
東京都港区港南 1-2-70

サル痘ウイルスを検出する研究用試薬 「LightMix Modular」3 製品発売のお知らせ

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長兼 CEO：小笠原 信）は、サル痘ウイルスと、サル痘ウイルスを含むオルソポックスウイルス属由来のウイルスを検出する研究用試薬「LightMix Modular」の 3 製品を 6 月 30 日に発売します。リアルタイム PCR 法を測定原理とし、約 70 分の測定時間で結果を確認できます。

「LightMix Modular」は、ロシュとロシュの子会社の TIB MOLBIOL 社(ドイツ・ベルリン)が開発した研究用試薬で、ロシュのリアルタイム PCR 機器「コバス z 480」、「ライトサイクラー 480 システム II」、または「ライトサイクラー 96 システム」を用いてウイルスを検出します。

今回発売する 3 製品は、サル痘ウイルスを検出する試薬のほか、サル痘ウイルスを含むオルソポックスウイルス属由来の遺伝子を検出する試薬、そして、融解曲線解析により西アフリカ系統群、コンゴ盆地系統群、その他のオルソポックスウイルスを区別することができる試薬の 3 種類です。

【製品概要】

| 製品名 | 検出するウイルス |
|--|--|
| LightMix® Modular Monkeypox Virus | サル痘ウイルス |
| LightMix® Modular Orthopox Virus | サル痘ウイルスを含むオルソポックスウイルス属 |
| LightMix® Modular Orthopox Virus typing | オルソポックスウイルス属（融解曲線解析にてサル痘ウイルス西アフリカ系統群、サル痘ウイルスコンゴ盆地系統群を判別可能） |

分類：研究用試薬

測定原理：リアルタイム PCR 法

推奨検体：皮膚病変の表面および／または滲出液のスワブ

測定時間：約 70 分（検体前処理の時間は含みません）

対応機器：コバス z 480、ライトサイクラー 480 システム II、ライトサイクラー 96 システム

【サル痘およびサル痘ウイルスについて】

サル痘とは、サル痘ウイルス感染による急性発疹性疾患で、感染症法で 4 類感染症に指定されています。主にアフリカ中央部から西部にかけて発症が報告されていますが、アフリカ以外の地域においても海外旅行や輸入動物に関連して人がサル痘に感染した報告があります。症状は発熱と発疹を主体とし、多くは 2-4 週間で自然に回復しますが、小児等で重症化、死亡した症例の報告もあります。

サル痘ウイルスは、自然界ではげっ歯類が宿主として疑われています。大きく分けてコンゴ盆地系統群と西アフリカ系統群の 2 種類の遺伝的系統群があり、西アフリカ系統群に比較してコンゴ盆地系統群は重症化しやすく、またヒトからヒトへの感染性が高いとされています。

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社について

創立 125 周年を迎えたロシュグループは、ヘルスケア業界で革新を起し続ける、世界有数のバイオテックカンパニーです。医薬品と診断薬を併せ持ち、健康・予防・診断・治療・予後のすべてのステージにおいて、医療従事者の皆さまと患者さんが最適な治療選択や意思決定をできるよう支援しています。

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社はロシュ診断薬事業部門の日本法人です。日本における診断薬事業は 50 年の経験と実績があり、2022 年 1 月現在で従業員 702 人、全国 8 都市にオフィスを有し、体外診断用医薬品・医療機器事業、研究用試薬・機器事業などを幅広い領域で展開しています。診断の革新によりヘルスケアの未来を形づくり、人々がより健やかに、自分らしい人生を送れるようサポートすることを目指しています。

詳細は、<http://www.roche-diagnostics.jp> をご覧ください。

本件のお問い合わせ先

広報部門

email: tokyo.pr@roche.com